



三同教だより

No. 14

“三同教”とは、三木市人権・同和教育協議会の略称です

◆◆◆◆◆ 発行 ◆◆◆◆◆
〒673-0501
三木市志染町吉田823
三木市人権・同和教育協議会
(三木市立総合隣保館内)
TEL 0794-82-8388
FAX 0794-82-8658
発行日 平成31年2月15日

フィールドワークにご参加を！

京都-東山文化を支えた被差別民の歴史をたどる

「士農工商はなかった」—これまで部落差別の起源は、江戸時代初期と言われてきましたが、研究が深まるにつれ、平安中期であることがわかってきました。

世界遺産の銀閣寺や龍安寺の庭園なども、河原者と呼ばれ差別を受けていた人々によって造られたという史実も残っています。

今回のフィールドワークでは、中世河原者のすぐれた技術が残る銀閣寺や、生活を営んだ鴨川河川敷などを見学します。また、京都駅に近い「柳原銀行記念資料館」を見学し、地区の歴史と新たなまちづくりの取組に学びます。


ぜひご参加ください！



京都フィールドワーク

- ◆日時 3月16日(土)
8時出発～18時解散
- ◆集合場所 三木市文化会館駐車場(図書館前)
- ◆訪問先 下鴨神社・銀閣寺・八坂神社・柳原銀行記念資料館など
- ◆参加費 2,000円(昼食代・保険代)
- ◆定員 40名(先着順、2月25日受付開始、3月11日正午締切)

【問合せ・申込先】
 〒673-0501
 三木市志染町吉田823
 三木市人権・同和教育協議会
 TEL. 0794-82-8388
 FAX. 0794-82-8658




世界遺産 下鴨神社

世界遺産 銀閣寺



柳原銀行記念資料館

三同教は、結成から50年の節目を迎えるのを機に、これまでの取組をふり振り返り、「あなたがいるから あったかい ～心つないで今日から明日へ～」をスローガンに、今後の方向性をうちだそうとしています。昨年4月から今年3月までを「三木市じんけん年」と名づけ、昨年8月の「市民じんけんの集い」を中心に、様々な催しを行いました。

“ちゃんとあるで、あなたの居場所” シンポジウム

三同教結成50周年記念式典や、「居場所」をキーワードにした講演とパネルディスカッションが8月19日、三木市文化会館大ホールで開かれ、788名の参加がありました。

住吉隣保事業推進協会常務理事の友永健吾さんは「すべての人が尊敬される地域をめざして」と題して、民設置・民営の隣保館を拠点にした、地域の人々とともに進めるまちづくりについて実践報告しました。

毎日新聞論説委員の野澤和弘さんは「障害者への合理的配慮と地域共生社会」と題して講演。その人の特性にあわせて必要な配慮をすべきで、十分な解決が難しくても、建設的な対話を続けることの大切さを述べられました。

NPO法人このゆびと一まれ理事長の惣万佳代子さんは「あったか地域の大家族」と題して、高齢者も障がい者も子どももいっしょに過ごす「富山型デイサービス」を紹介、「一つ屋根の下で過ごすことが大切。『障がい者』という『くくり』は必要ない」と訴えました。

式典にあたっては、三木高校吹奏楽部、吉川高校書道部、三木北高校美術部、三木東高校放送部・美術部の皆さんの協力をえて、若者の息吹を感じる集会となりました。

また、この「集い」の中で、人権尊重のまちづくりに主体的・積極的に取り組む団体の表彰も行われました。小ホールでは、アニメ映画「コウノトリ大作戦！」を、音声サポートや字幕をつけ、バリアフリー映画会として上映し、親子連れなど243名の参加がありました。

公民館でも多彩な催し

市内の公民館でも、様々な取組が行われました。

「この世界の片隅に」(自由が丘)「さとにきたらええやん」(細川町)「カレーライスを一から作る」(中央)「人生フルーツ」(別所町)「忍たま乱太郎」「むしむし村の仲間たち」(三木南)などの映画会や、落語家やシンガーソングライターを招いた催し(緑が丘町)、アコースティックコンサート(口吉川町)、地域づくり研究大会講演会(志染町)、人権指導者研修会(青山)、吉川町では市民人権劇の公演が、三同教50周年記念事業として行われました。



三木市人権・同和教育協議会
50周年記念事業
あなたがいるから あったかい
心つないで 今日から明日へ

市民人権劇「わたしに失敗させてよ」公演

市民手づくりの人権劇「わたしに失敗させてよ」が、12月9日総合隣保館で、12月15日に吉川町公民館で、1月20日に市民活動センターで、上演されました。

三木に住む小学6年生のサキと4年生のアートの姉弟は仲が悪かったが、「1本のくぎ」がきっかけとなり100年前と100年後にタイムワープして、様々な出会いを重ね、人間にとって何が大事なのかを見つけていくストーリーです。

シナリオや主題歌の作成、道具類の製作など、すべてが手づくり。ここでも高校生や中学生の皆さんが大活躍。劇背景画を三木東高校美術部が作成、会場看板・リーフレットタイトルを吉川高校書道部が作成、コーラスを吉川中・別所中音楽部の皆さんが担ってくれました。

演じたのは、12年前から毎年、総合隣保館文化祭で発表を続けている「テアトロ三木」



100年前にワープした姉弟が鍛冶職人と出会う場面

のメンバーを中心に、公募で参加した「市民あったか劇団&テアトロ三木」です。小学5年生から60歳代までの幅広い演者が、持ち味を生かして演じ切りました。

過去とつながって今の自分があり、その自分がまた未来に命をつないでいく。未来の三木をどう私たちが作っていくのかを、いっしょに考える良い機会になったと、多くの人が感想を寄せてくださいました。

障がいのあるなしにかかわらずいっしょにスポーツを楽しむ

スポーツを通じて、交流を深めようと、毎年開催されているイベントに参画しました。

昨年5月3日は、三木ホースランドパークで「ふれあいスポーツデー2018」の宝探しコーナーを担当し、市民に三同教の取組をアピールしました。

10月20日には「第31回障がい者ふれあいスポーツ大会」にスタッフとして参加しました。障がいのある人もない人もいっしょにスポーツを楽しむことを通じて、「地域で共に生きていく」ことをめざす催しで、これからも参画していきます。



障がい者ふれあいスポーツ大会紅白玉入れ

市民に開かれた三同教をめざして！

あなたがいるから
あったかい



三同教

50周年記念事業は3月で終了しますが、三同教はこの取組を1年限りとせず、これからも「市民に開かれた三同教」をめざして取組を進めます。そこで、この1年をふり返って、寄せられた様々な感想や意見を対談風に紹介します。



スローガン「あなたがいるからあったかい」は、わかりやすく良いし、ロゴはほっこりするね。

応募数2002点の中から選ばれたロゴマーク



小学生が劇に参加してくれたり、中学生や高校生がチラシ・ポスター・パンフレット・看板などを作ってくれたり、舞台での演奏や司会、合唱をしてくれたことがたいへん好評でした♡



演者と参加者の気持ちが一つになったように感じました。



高校生が作成したポスター・チラシ



スリーサポーターが作成したポスター



市民人権劇の公演後に参加者がメッセージを貼りつけた未来のココロの木

障がいのあるなしや年齢、性別に関係なく、だれもが気軽に参加できる企画がありがたいね。障がい者は映画館になかなか行けないから♡

スリーサポーターズ募集中！



「開かれた三同教」をめざし、どなたでも自分らしいスタイルで参加できるよう「スリーサポーターズ制度」を設けています。「行事の案内を送ってほしい」という方も大歓迎です。ぜひお申し込みください！

☎三同教事務局（総合隣保館内 電話 82-8388）